

広報

えびな 6/1 日号

編集・発行 海老名市役所 市長室

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
代表 ☎046(231)2111 ㊟046(233)9118
㊚ http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、海老名市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
☎ 同センター (☎237・3001)

世帯と人口(5月1日現在) 世帯51,209 人口127,603人 男64,746人 女62,857人

7月から9月まで 水曜午後は お休みします

～振り替え業務は、土曜午前に行います～

東日本大震災に関連した福島原子力発電所の事故および浜岡原子力発電所の運転停止に伴い、ことしの夏は広域的な電力不足が想定されています。

市では、国からの電力使用量の15%抑制目標を受け、さらに5%上乗せした20%の節電目標を設定し、率先して節電に取り組むための節電基本方針を策定しました。

市民サービスの低下を最小限に抑えることに努めながら、本庁舎をはじめとする公共施設の使用電力を削減して、今夏の節電に取り組んでまいります。

節電の具体的な取り組み

- ◆市庁舎は、水曜日の午後閉庁、土曜日の午前開庁として、平日のピーク時電力需要の抑制に努めます
- ◆公共施設の節電目標を20%に設定。率先して節電に取り組みます
 - ・屋内照明は、原則50%消灯とします
 - ・空調機は、最低2時間の停止または温度を引き上げて運転します
 - ・小中学校(屋内運動場)の一般開放は輪番とします
 - ・運動施設のナイターは、平日夜間の利用を中止します
- ◆家庭の節電目標15%達成に向けて、節電キャンペーンを実施します

家庭内での
節電対策にも
ご協力
ください

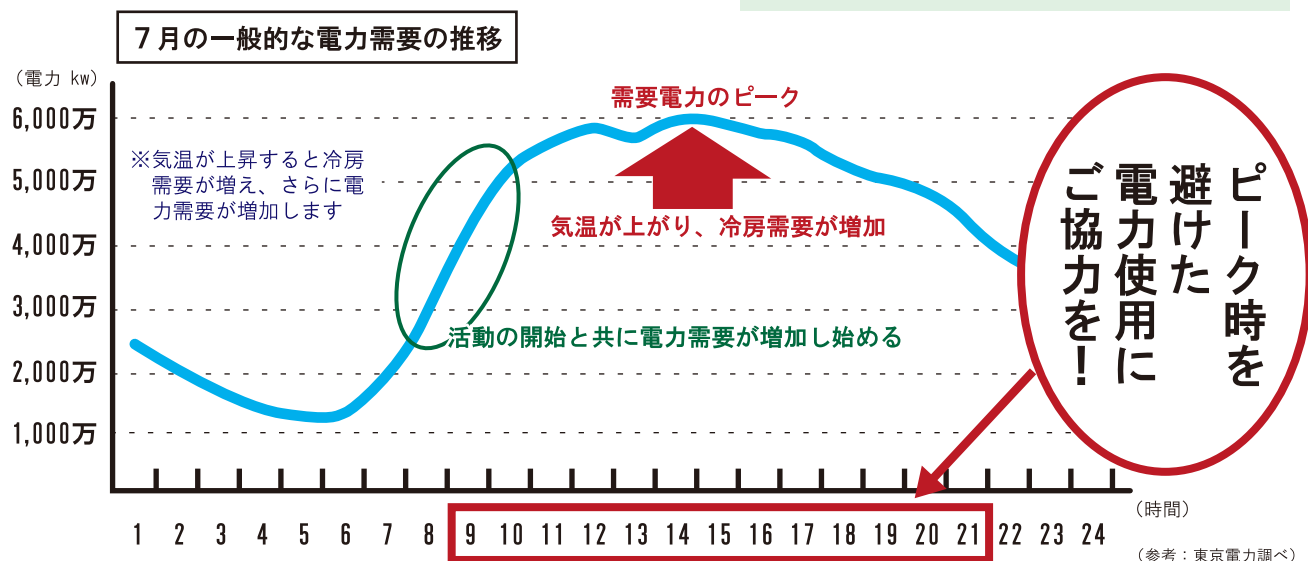


これから電力消費が増加する夏場に向け、私たちもさらなる節電を心掛けなければならない状況になってきます。

朝夕の電力需要ピーク時を避けて利用することも、安定した電力供給を保つための重要な方法です。

被災地の早期復興と、安定した電力供給につなげるため、家庭内で出来る節電に、ご理解とご協力をお願いします。

えび〜やがおススメする節電のポイントを、インターネット放送局で配信しています。みなさん、ぜひご覧ください。
<http://www.ebinafield-itv.jp>



政策経営課 (☎235・4790)

- Q** 水曜日の午後に閉庁するのはどうして?
- A 国の節電目標を達成するためには、一日の電力需要がピークを迎える平日の日に電力を使用しないことが必要と考え、来庁者が比較的少なく、もともとノー残業デーである水曜日の午後に閉庁することとしました。
- Q** 住民票などの交付は出来ないの?
- A 閉庁しても自動交付機は通常とおり使用でき、住民票・戸籍・印鑑証明は取得できません。
- Q** 土曜日は何時まで開庁しているの?
- A 8時30分から12時45分まで全庁で業務を行います。
- Q** 節電キャンペーンは、どんなことをするの?
- A 市内の一般家庭(事業者を除く)全世帯を対象とした『えびな発・5万世帯の節電キャンペーン』を7月～9月にかけて展開します。
- これは、前年同月と比較して電力使用量が15%以上削減した世帯に、姉妹都市の宮城県白石市の物産(米・みそ・しょうゆなど)を進呈するものです。詳細は次号にてお知らせします。

